

# PRSJ NEWS

2024年5月号 No.362



PRプランナー・創発ワークショップ 2024の様子  
P\*\*掲載

## TOPICS

### MESSAGE

広報ほど素敵な商売はない！ -----ワクワク、ドキドキ、ときどき、ハラハラ、ヒリヒリ---

P3

PRSJ 監事 山田悦朗

### BULLETIN

PRプランナー・創発ワークショップ 2024(3月9日)開催報告

P10

入門講座開催報告

P11

事務局だより

P23

# 目 次

5月~6月スケジュール		P1
MESSAGE(メッセージ)	広報ほど素敵な商売はない！ ----ワクワク、ドキドキ、ときどき、ハラハラ、ヒリヒリ---	P3
ATTENTION(お知らせ)	5月入会の皆様のご紹介	P5
”	2024年度PRプランナー資格認定検定試験 実施スケジュール	P6
	第35回3次試験 申込み受付5月27日(月)から開始	P7
	第36回1次試験 申込み受付6月1日(土)から開始	P8
	1次試験公式テキスト『2024年度版 広報・PR概説』を発刊	P9
BULLETIN(活動報告)	PRプランナー・創発ワークショップ2024(3月9日)開催報告	P10
”	「広報・PR入門講座」開催報告	P11
”	2023年度第2回国際セミナー(3月22日)開催報告 (正会員・個人会員限定)	P12
”	消費者庁ステマ規制に関するセミナー開催報告(会員限定)	P13
REPORT(レポート)	第229回定例研究会「日経のビジネス報道改革」開催報告 (正会員・個人会員限定)	P14
PRSJ in MEDIA	協会掲載記事	P15
PLAZA(会員情報)	井之上パブリックリレーションズ会長兼CEO 井之上喬著 『パブリック リレーションズ』(第3版)を刊行	P16
事務局だより		P18

## 5～6月 セミナー・イベント スケジュール

### 【オンデマンド視聴】

PR プランナー1 次試験対策講座	講 師	(株)井之上パブリックリレーションズ 横田和明氏他、全4名
PR プランナー2 次試験対策講座	講 師	三菱UFJフィナンシャル・グループ 飾森亜樹子氏他、全12名
PR プランナー3 次試験対策講座	講 師	(株)グッドパッチ 高野祐樹氏他、全4名

### 【オンデマンド視聴】

PR 集中テーマスタディ<第1回>	日 時	: 2023年7月25日(火)～2024年7月31日(水)
	テーマ	: リスクコミュニケーション(危機管理広報)
PR 集中テーマスタディ<第2回>	日 時	: 2023年11月22日(水)～2024年11月22日(金)
	テーマ	: 戦略的コーポレートコミュニケーションの新展開
PR 集中テーマスタディ<第3回>	日 時	: 2024年2月21日(水)～2025年2月20日(木)
		: ブランディングを実現する最新PR戦略
第31回 広報活動研究会	日 時	: 5月28日(火) 15:00～17:30(14:30受付開始)
	会 場	: 三菱UFJフィナンシャル・グループ M U F G P A R K
【会場開催(オンデマンド視聴あり)】 第230回定例研究会	日 時	: 月29日(水) 14:00～15:20
	テーマ	: NHKがめざすこれからの報道 ～今春の番組改編にみるNHK報道の方向性～
	講 師	: NHK報道局専任部長 取材センター長 編集主幹 山口 学氏
	会 場	: 六本木アカデミーヒルズ「カンファレンスルーム6」
大使館訪問	日 時	: 6月5日(水) 15:00～16:30
	会 場	: フィンランド大使館
関西部会主催 第291回定例会	日 時	: 6月10日(月) 16:00～17:45(受付開始15:30～)
	テーマ	: 自分らしい“部活へア”でモチベーションアップ! マンダムの取り組み
	講 師	: (株)マンダム 広報部 萩原奈津子氏
	会 場	: (株)マンダム本社3階史料館

## 5月～6月の理事会・委員会・部会スケジュール

◇定例理事会	(5月度)	日時	: 5月9日(木)	16:00～17:30
		会場	: 事務局+オンライン開催	
	(6月度)	日時	: 6月13日(木)	16:00～17:30
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇教育委員会	(5月度)	日時	5月20日(月)	15:00～16:00
		会場	事務局+オンライン開催	
◇資格委員会	(5月度)	日時	: 5月23日(木)	14:00～15:30
		会場	: ハイブリッド開催	
◇国際・交流委員会	(5月度)	日時	: 5月10日(金)	16:30～17:30
		会場	: オンライン開催	
◇広報委員会	(5月度)	日時	: 5月23日(木)	16:00～17:00
		会場	: オンライン開催	
◇顕彰委員会	(5月度)	日時	: 5月29日(水)	16:30～17:30
		会場	: オンライン開催	
◇企業部会幹事会	(5月度)	日時	: 5月8日(水)	17:00～18:00
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇PR業部会幹事会	(5月度)	日時	: 5月21日(火)	16:00～17:00
		会場	: オンライン開催	

## 広報ほど素敵な商売はない！

----ワクワク、ドキドキ、ときどき、ハラハラ、ヒリヒリ----



PRSJ 監事 山田悦朗

(株) インターネットイニシアティブ 広報部顧問

監事を3期務め、この6月で退任予定の山田です。その前も2010年から理事、副理事長(企業部会長)を6年務めましたので、PRSJには長らくお世話になりました。最後にこの原稿が回ってきてしまったので、思いっくままに自分の経験してきた広報という仕事のワクワクなどを。

**ミュージカルのタイトルではないですが、「広報ほど素敵な商売(仕事)はない！」**

入社4年目の1980年に、当時勤務していたコンピュータメーカーの工場勤労部から本社の広報課に転勤になり、広報人生をスタートしました。「広報」なんて全く聞いたこともなかったので、よく居眠りをしていた当時の工場勤労部長に、「広報とはどんな仕事をするところですか？」と聞くと、「新聞の上の段を担当するところの下段は宣伝部」と。今考えてもなかなか簡潔でわかりやすい説明で、それからIR担当も含めると30年以上も広報という仕事に携わることになりました。

広報課は課長入れて6人しかいなかったもので、転勤早々、会長取材に立ち会えと言われ、これは大変なところに来たもんだ、と思ったものです。それまでお会いしたこともない会長へのドキドキ取材同席ですが、入社4年目の担当が会社トップの話の直に聞けるなんて、普通のサラリーマン生活ではありえない。その後の記者取材同席でも、各部門担当役員の話や開発部門、マーケティング部門のトップレベルの専門家の話を直接聞いて会社の状態、技術や業界の状況を幅広く勉強することができ、こんなに恵まれた部門はないと実感。

リリース作成でも(当時は2日前原稿確定で印刷所へもって行き、紙で記者クラブに配布)、日本初とか稀に世界初の開発発表案件などがあって、それはそれはワクワク。難しい技術的内容を自分なりに理解してわかりやすい文章にする(よく中学生でも理解できるレベルといわれますが、無理!)のが大変だったりすると、翌日どんな記事になるかハラハラしたり(気を引くタイトルを考えたり、わかりやすい解説を考えたり本当は創造性を発揮できて楽しいというべきでしょう)。。ニュースネタは技術開発案件から受注・システム稼働、コーポレートマターまで幅広く、常に新しいことの勉強で、営業で大型案件獲得やエンジニアとして新製品開発成功なども「やった！」というワクワク感は大いにあるでしょうが、広報は人ごとながらそれがしょっちゅうあるわけで、こんなにワクワクドキドキに恵まれた部門はない。さらに世のためになるような話(今ならSDGs的な)をニュースに仕立て、それがうまくメディアに取り上げられ社会的にも盛り上がりやすくと、(自分がやったことではないのに)うふふ、えへへと誇りに思えるから不思議。

発表会や記者懇親会の仕切りもなかなか大変だけど、ワクワクする仕事ですね。ホテルの下見、出し物、どんな料理にする、どう予算内に収めるかなど、マネジメント力が鍛えられます。ただ、何人記者が来てくれるか、料理がなくならないかなどでハラハラするも、最後にホテルならではのカレーの残りをいただく時は幸せ(これがうまいんだな)。食べ物の話では、記者さんのお近づき懇親会などではどんなお店を選ぶか、相手の好みにも配慮しながらなかなか大変ですが、ま、自分でもおいしいと思う店を選ぶわけでお相伴させていただけるのは、(大きな声では言えないが)ウヒヒの役得。記者の方々とは間を縮めて、時にお願ひしたりされたりといった関係が築ければGood!(最近ではDrinkの風潮が薄くなっていると聞いて残念です。)

ハラハラ、ヒリヒリといえ、リスク案件。一度公共案件で、非常識な価格での入札(システム構築の

仕様を決める設計前工程を1円で入札。金額が高い後工程を受注できる可能性が高まる。)が問題になり、「担当支店長が熱心なあまり、つい」と言い訳していたら、メディアの取材能力はさるもの、同様な案件を日本中から集めてきて「どうだ!」と。中にはライバルと同じ価格だったので、じゃんけん勝負して負けたとか笑えない話も。。当時、地域広報活性化(ブロック紙や県民紙に記事掲載増やす)というテーマで営業部門行脚をしていたのですが、これで地方でも一挙に知名度アップ!(マイナスPRもPRと割り切りも必要かな。入札制度はその後変更された)また、トップが辞めるのに「体調思わしくなく」と理由付けて発表したら、「前の晩にドリンクしてたんだけど、?」とある記者から。。ヒリヒリするので、メディア相手に嘘はつけない、ということ。

こんなバカな話しているといつまでも終わらないので、そろそろおしまいにはしないといけないのですが、広報業務は本当にいろいろな方々に支えられて成り立っています。社内の同僚、ネタ提供部門、果ては経営陣、さらにお相手の記者の方々まで。いろいろ秘密も共有(?)するので、変な連帯意識が芽生え、なかなか楽しいサラリーマン人生を送ることができます。(広く役員含めて顔見知りになるので、広報の次は秘書室、さらには社長!なんて方も。。)メディアの方々とは、時に喧嘩まがいになりますが、ある意味苦楽ともにした仲ということで、長くお付き合いをさせていただいている方もいます。また他社広報の方々とも、このPRSJ企業部会や業界団体のPR委員会などで、「お互い、外と中との板挟みで大変ですよね」など同類相哀れむということで、ライバル社であっても愚痴を言い合ういい仲になることができます。

最後に、この世界、いろいろ新しいメディアや方法論などが出てきていますが、基本的に必要なのはコミュニケーション力、創造性に想像力、人との付き合い方、企画力、マネジメント力などで、それは変わらないでしょう。(かな?AI出てきても??)それが鍛えられる広報はいつまでもチャレンジの連続で、またそれがワクワクドキドキで楽しい。

ということで、「広報」は素敵だし、広報仲間はもっと楽しい!みなさん、頑張ってください!!

新規入会の会員（正会員）のみなさまの「自己紹介」ページです。今回は、5月にご入会いただきました正会員（掲載希望社）をご紹介します。

## 本田技研工業株式会社

**HONDA**  
The Power of Dreams

**How we move you.**  
CREATE ▶ TRANSCEND, AUGMENT

Honda は創業以来「人や社会の役に立ちたい」「人々の生活の可能性を拡げたい」という想いのもと、多くのお客様に喜んでいただける、暮らしに役立つ商品の提供に取り組んでいます。「夢」を原動力に、独創的なアイデア、技術、デザインを大切にしながら、誰もが無理だと思ふようなことに果敢にチャレンジすることで成長してきました。

幅広いモビリティの創造を通じて、「意志を持って動き出そうとしている世界中のすべての人」を支えるパワーとなることを目指し、移動と暮らしの進化に貢献する価値提供を続けています。

PR 活動についてもより一層、力を入れていこうと考えているところですので、よろしくお願ひいたします。

## 株式会社 kushami



kushami は、スタートアップの経営企画への参画、事業／プロダクトのコミュニケーション戦略立案から手口まで一貫通貫したプロジェクトに携わっています。社会課題解決を目的に活動・事業をされている方向けに、最適化された PR の戦略・アクティビティを提供することで、社会をポジティブに転換することを目指しています。得意領域は、ヘルステックやエドテック、環境、まちづくりです。kushami 社として大切にしているキーワードは“やさしい”です。初めて PR について相談したい方、何年も PR を継続しながらも新たな一手を打ちたい方、それぞれの事情やニーズに合わせた最適解を提供します。どうぞよろしくお願ひいたします。

**PRプランナー資格認定制度／検定試験****2024 年度 試験実施スケジュール****資格委員会**

PRプランナー資格認定制度は、PRパーソンとしての知識、スキル、職能意識を有することを認定する資格で2007年より実施されています。試験は、総合的な基本知識を問う1次試験、専門領域別に知識を問う2次試験、実務的な企画力を問う3次試験で構成されており、体系的にパブリックリレーションズが履修できるほか、試験のレベルに応じ「PRプランナー補」「准PRプランナー」「PRプランナー」の資格を認定しています。

2024年度の試験日程は下記の予定となっておりますので、ぜひ受験をご検討いただければ幸いです。

**【試験日程】**

試験	実施日程	仮申込・本申込期間、合否発表
<b>第35回 PRプランナー資格認定検定試験</b>		
2次試験	2024年5月11日(土) ～5月19日(日)	仮申込期間：3月4日(月)～4月26日(金) 本申込期間：3月4日(月)～5月3日(金) 合否発表：5月29日(水)
3次試験	2024年7月27日(土)、 7月28日(日)	仮申込期間：5月27日(月)～7月12日(金) 本申込期間：5月27日(月)～7月19日(金) 合否発表：8月26日(月)
<b>第36回 PRプランナー資格認定検定試験</b>		
1次試験	2024年8月10日(土) ～8月25日(日)	仮申込期間：6月1日(土)～7月26日(金) 本申込期間：6月1日(土)～8月2日(金) 合否発表：9月4日(水)
2次試験	2024年11月9日(土) ～11月17日(日)	仮申込期間：9月2日(月)～10月25日(金) 本申込期間：9月2日(月)～11月1日(金) 合否発表：11月27日(水)
3次試験	2025年1月25日(土)、 1月26日(日)	仮申込期間：11月25日(月)～1月10日(金) 本申込期間：11月25日(月)～1月17日(金) 合否発表：2月24日(月)
<b>第37回 PRプランナー資格認定検定試験</b>		
1次試験	2025年2月8日(土) ～2月23日(日)	仮申込期間：12月1日(日)～1月24日(金) 本申込期間：12月1日(日)～1月31日(金) 合否発表：3月5日(水)

詳細は、PRプランナー資格制度 Web サイトでご確認ください。

PRプランナー資格制度 Web サイト：<https://pr-shikaku.prsj.or.jp/>





## PRプランナー資格認定制度／検定試験

# 第 35 回 3 次試験(7 月実施)のお申込み受付を 5 月 27 日(月)から開始します

— 受験料改訂前の最後の試験 —

資格委員会

2024 年度前期（第 35 回）3 次試験のお申込み受付を 5 月 27 日（月）より開始します。

第 35 回 3 次試験は CBT による記述試験で実施され、試験期間は 7 月 27 日（土）・7 月 28 日（日）の 2 日間で実施します。

また、第 36 回 3 次試験（2025 年 1 月実施予定）から、3 次試験の運営に関わる費用やシステム関連経費を含め、将来にわたり安定的な試験運営と、より公平・公正な試験運営を維持していくため、受験料を改定することとなっております。

受験料改訂前の最後の試験として、この機会をご利用いただければ幸いです。

### ◆改訂受験料

改訂前 3 次試験受験料		➔	改定後 3 次試験受験料	
会員	11,000 円 (10,000 円+税)		会員	13,200 円 (12,000 円+税)
一般	13,200 円 (12,000 円+税)	一般	17,600 円 (16,000 円+税)	

### ◆改訂までの試験実施スケジュール

2024 年				2025 年
5 月	7 月	8 月	11 月	1 月
第 35 回	第 35 回	第 36 回	第 36 回	第 36 回
2 次試験	3 次試験	1 次試験	2 次試験	3 次試験
現行受験料	現行受験料	現行受験料	現行受験料	改定受験料

※1 次試験、2 次試験の受験料につきましては、変更はありません。

### 【PRプランナー資格認定制度／検定制度 第 35 回 3 次試験 スケジュール】

試験期間	2024 年 7 月 27 日（土）、7 月 28 日（日）
仮申込み期間	2024 年 5 月 27 日（月）正午～7 月 12 日（金）23:59 まで
本申込み期間	2024 年 5 月 27 日（月）正午～7 月 19 日（金）23:59 まで
合否発表	2024 年 8 月 26 日（月）正午
受験資格	2 次試験 4 科目合格者、かつ 3 年以上の広報・PR 実務経験者

試験スケジュールにつきましては、変更する可能性もございますので、下記の PR プランナー資格制度 Web サイトでご確認くださいませう、お願い申し上げます。

PRプランナー資格制度 Web サイト：<https://pr-shikaku.prsj.or.jp/>



## PRプランナー資格認定制度／検定試験

# 第36回1次試験のお申込み受付を 6月1日(土)から開始します

—試験期間は、8月10日(土)～25日(日)まで—

資格委員会

2024年度後期(第36回)1次試験のお申込み受付を6月1日(土)より開始します。

第36回1次試験は、8月10日(土)～8月25日(日)の16日間で実施します。本1次試験は広報・PRに関する基本的な知識を問う出題となり、これまでに15,976名が受験し、11,864名が合格しております。

広報・PRの知識は広報・PR部門の方のみならず、ビジネスパーソンに役立つスキルです。ぜひ受験をご検討いただければ幸いです。

- 全国に開設されたテストセンターで、PCを使って受験していただきます。
- 16日間の試験期間で、ご都合のよい日時・会場を選択できます。
- 受験料のお支払いはクレジットカード払い、コンビニ払い、Pay-easy(ネットバンキング)からお選びください。(手数料は無料です)
- 定員の制限なくお申込み可能ですが、ご希望の日時・会場が先約で埋まってしまう場合もありますので、お早めにお申込みください。

### 【1次試験 お申込みから合否通知までの流れ】



### 【PRプランナー資格認定制度／検定制度 第36回1次試験 実施概要】

試験期間	2024年8月10日(土)～8月25日(日)
仮申込み期間	2024年6月1日(土)正午～7月26日(金)23:59まで ※PRプランナー資格制度Webサイトでのお申込みとなります。(本申込に必要な受験コードを取得)
本申込み期間	2024年6月1日(土)正午～8月2日(金)23:59まで ※CBTS Webサイトにユーザー登録後、同サイトでの本申込みとなります。(受験日時・会場選択、受験料のお支払い)
合否発表	2024年9月4日(水)正午
試験出題数／試験時間	50問／80分
合格基準	全出題数に対して正答率70%以上で合格
対応公式テキスト	広報・PR概説(2024年度版)

試験スケジュールにつきましては、変更する可能性もございますので、下記のPRプランナー資格制度Webサイトでご確認くださいませよう、お願い申し上げます。

PRプランナー資格制度Webサイト：<https://pr-shikaku.prsj.or.jp/>



## PRプランナー資格認定制度／検定試験

### PRプランナー資格認定検定試験 1次試験公式テキスト

# 『2024年度版 広報・PR概説』を発売

—2024年8月に実施される第36回1次試験に対応—

資格委員会

PRプランナー資格認定検定試験1次試験の公式テキスト『2024年度版 広報・PR概説』を3月31日に同友館より刊行しました。

本テキストは、2024年8月の第36回1次試験と2025年2月に実施される第37回1次試験に対応し、試験範囲となる、経営、CSR、IR、危機管理、マーケティング、ブランドの基本理論の、幅広い範囲にわたる試験分野の内容をカバーし、受験準備を効果的かつ効率的に行うことが可能となります。

『2023年度版 広報・PR概説』からの主な変更内容は、社会環境の変化に対応し、第9章「CSR（企業の社会的責任）」は全面改訂。第1章「広報・PRの基本」、第2章「企業経営と広報・PR」、第5章「メディアリレーションズ」、第6章「マーケティングの基礎理論」、第10章「インターナル・コミュニケーション」、第11章「IR」、第13章「危機管理広報」、第14章「行政・団体のPR」では部分改訂を行いました。その他、統計データを更新しています。

なお、2次・3次試験に対応した『2024-2025年度版 広報・PR実践』、および1次試験から3次試験までの参考問題を収録した『2024年度版 広報・PR参考問題集』は、6月刊行を予定しております。



### 2024年度版 広報・PR概説

仕様	定価：2,640円（消費税込） 仕様：A5サイズ、343ページ
編著	(公社)日本パブリックリレーションズ協会
発行	同友館
発行日	2024年3月31日
ISBN	978-4-496-05708-3
目次	第1章 広報・PRの基本 第2章 企業経営と広報・PR 第3章 広報・PR活動のマネジメント 第4章 コミュニケーションの基礎理論 第5章 メディアリレーションズ 第6章 マーケティングの基礎理論 第7章 マーケティングと広報・PR 第8章 ブランドの基礎理論 第9章 CSR（企業の社会的責任） 第10章 インターナル・コミュニケーション 第11章 IR(インベスターリレーションズ) 第12章 グローバル広報 第13章 危機管理広報 第14章 行政・団体等の広報・PR ※各章末に参考問題付

## PRプランナー資格認定制度／検定試験

～ PRプロフェッショナルのあるべき姿を考え、PRプランナーの交流を広げる1日 ～

# PRプランナー・創発ワークショップ 2024

—PRプランナー新規取得者を対象に、3部構成で開催—

資格委員会

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会（PRSJ）では、PRプランナー資格の新規取得者を対象に、目指すべきPRプロフェッショナル像とPRプランナーとしてのキャリア形成について考え、話し合う機会として「PRプランナー・創発ワークショップ 2024」を3月9日（土）に開催しました。

第1部の基調講演では“PRプロフェッショナルへの期待“をテーマに、(株)三菱UFJフィナンシャルグループ 経営企画部 部長 チーフ・コーポレートブランディング・オフィサーで、当協会理事で資格委員会委員長でもある飾森 亜樹子氏にご登壇いただき、実際の業務でどのようにコーポレートコミュニケーションを組織内外で活性化させてきたのかを、さまざまな活動を事例で示していただきながら、お話しいただきました。



参加者からは、「目指すべきコーポレートコミュニケーションの世界観が見えた」「自社で取り組むべきことが見えてきた」「難しい課題にも取り組もうというモチベーションが持てた」といった感想が寄せられました。

第2部“自らが目指す「PRプロフェッショナル像」を考え、共有する創発ワークショップ”では、コア・エリート(株) 代表取締役社長でPRプランナーでもある丸山 寛之氏をファシリテーターに迎え、PRプランナーとして「ありたい姿」を共創し、「今後、取り組みたいこと」をワールドカフェ形式で進行し、第1部での刺激もあり、アルムナイ（同期）同士で活発なコメントが交わされました。



第3部は会社や業界の枠を越えた相互の情報交換・親睦を目的とした“立食形式の交流会”となり、ワークショップでは話し足りなかった悩みや、解決のヒントなど、参加者全員で絶え間なく歓談が行われ、14時から5時間にわたるイベントは、あっという間に終了しました。

ご参加いただいた皆様、ご登壇された皆様をはじめ、ワールドカフェ形式でグループオーナーを勤められたPRプランナーの皆様や、ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



## 「パブリックリレーションズ入門講座 2024」を開講 ～約 70 名の受講者が広報・PRの基礎を学ぶ～

4月22日から24日の3日間、「パブリックリレーションズ入門講座 2024」を開講しました。

本講座は、広報・PRの新任実務者の方を対象とし、9つの講義、2つのワークショップで構成しています。

パブリックリレーションズ概論をはじめ、企業広報、マーケティング広報、クライシス・コミュニケーション、デジタル広報、広報関連法規など実務における基本的な内容に加え、ニュースリリース作成やメディアプロモートなど実務の基礎をワークショップ形式で学べる習得するプログラムを設けました。

講師には、広報・PR実務の専門家、企業広報マネージャー、報道関係者、弁護士など各分野のプロフェッショナルをお迎えし、業務にすぐ活かせる最新の実践的な内容をお伝えいただきました。



5年ぶりの対面開催となった本講座には、事業会社の広報・PR部門、PR会社及びPR業関連会社、諸団体などから約70名の受講者が参加。講座初日には硬い表情の受講者も見られましたが、講師のリアルな経験を基にした講座に耳を傾けていました。講座の終了後は、講師に質問する受講者も多数。また、2日目以降に行われたニュースリリースやメディアリレーションズに関するワークショップ形式の講座では、グループ毎の発表も実施。各グループがディスカッションし、真剣に課題に取り組みました。ワークショップを通して受講者同士のコミュニケーションも活発化し、和やかな雰囲気の中3日間の講座が滞りなく修了しました。

久々の対面開催ということもあり、受講者の皆様からは「リアルで講座を受けると熱量が違う!」「受講者同士のネットワークも出来るのが良い!」というご感想もいただいています。

受講者の皆様には、ぜひ本講座で得た学びとネットワークを、今後の広報・PR実務に活かしていただきたいと願っています。

※本講座を収録したオンデマンド講座を7月以降に通年開講の予定です

(事務局・佐藤)

**【正会員・個人会員限定】**

2023 年度第 2 回国際セミナー開催報告

国際メディアに映る日本とは～How to project Japan to the world～

フィナンシャル・タイムズ東京支局長 稲垣 佳奈氏

3 月 22 日(金)日本プレスセンタービル 9F

国際・交流委員会

2023 年度第 2 回国際セミナーは、ゲストスピーカーにフィナンシャル・タイムズ（以下 FT）東京支局長 稲垣佳奈氏をお迎えし、開催されました。世界をリードする経済メディアの視点から、日本のコミュニケーションの現状や課題、これからの在り方についてお話しいただき、今後 PR パーソンが注目すべき世界の動向などを語っていただきました。

**【会員限定】**

**消費者庁ステマ規制に関するセミナー開催報告**

**2024年3月12日(火)開催**

**PR業部会**

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会（PRSJ）PR業部会では去る3月12日に六本木アカデミーヒルズにて、「消費者庁ステマ規制に関するセミナー」を開催いたしました。

**【正会員・個人会員限定】**

第 229 回定例研究会

**日経のビジネス報道改革  
～日経産業新聞 3 月末休刊後は？**

講師:株式会社日経 BP 経営メディアユニット長  
**松井 健 氏**

第 229 回定例研究会は、3 月 13 日（水）開催しました。講師は株式会社日経 BP 経営メディアユニット長 松井 健氏。テーマは「日経のビジネス報道改革～日経産業新聞 3 月末休刊後は？」でした。



## 協会掲載記事

● 5月1日(水) 『月刊広報会議』(宣伝会議)6月号

『月刊広報会議』2024年6月号における当協会の連載コラムで、3月9日に開講した「PRプランナー・創発ワークショップ2024」について掲載されました。

コラムでは2020年夏以降に認定されたPRプランナーを対象に、約4年ぶりに開催されたPRプランナー・創発ワークショップについて紹介しています。基調講演では、企業が求めるPRプランナーの役割についての話があり、第2部のワークショップでは、自らが目指す「PRプロフェッショナル像」を考え、活発な意見交換を行った。また、情報交換とネットワーキングを目的とした交流会も行われ、今後も定期的なイベントの開催を予定していることが報じられています。

[記事協力：株式会社内外切抜通信社]

## ■ 会員便り

このページは会員の皆様から寄せられた情報をお伝えしております。会員の皆様のページとしてパブリック・リレーションズに関する様々な情報をお寄せください。

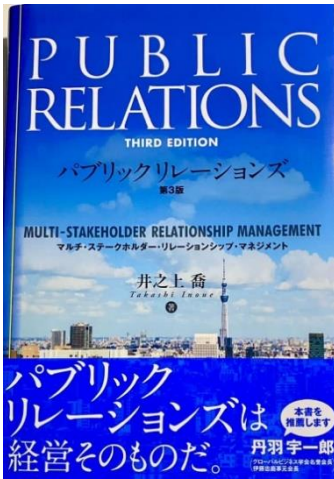
※内容によって掲載についてご相談させていただく場合があります。

日本評論社、井之上パブリックリレーションズ会長兼 CEO 井之上喬著

『パブリック リレーションズ』(第3版)を刊行

パブリックリレーションズとは「マルチ・ステークホルダー・リレーションシップ・マネジメント」である

株式会社日本評論社は株式会社井之上パブリックリレーションズ代表取締役社長兼CEO井之上喬著『パブリック リレーションズ ～マルチ・ステークホルダー・リレーションシップ・マネジメント～』第3版を刊行しました。発刊に際し伊藤忠商事元会長の丹羽宇一郎氏は「パブリック・リレーションズは経営そのものだ」という推薦の言葉を寄せています。井之上パブリックリレーションズ(<https://www.inoue-pr.com/>)



世界は民族問題、環境問題、貧困格差・不平等問題など、さまざまな課題を抱えます。ますます混迷の度合いを深めています。課題解決のため複合的な視点をもつインターメディエーター(仲介者)としての機能を有するパブリック・リレーションズ(PR)に課せられた責務はますます重大なものとなっています。こうした時代の要請に応える形で、本書は、厳しいグローバル競争に晒される経営者や実務家が取り組むべきパブリック・リレーションズの分析手法や実践手段を明示しています。そして、リレーションシップ・マネジメントを軸としながら、さまざまなステーク・ホルダーとの良好な関係構築を築くためにパブリック・リレーションズが大きな役割を果たすことを具体的なケースを紹介しながら示しています。

本書は、2006年に初版、2015年に第2版が刊行されており、今回は読者の強い要望に応え、インターネット時代、グローバル時代に対応し SNS や生成 AI とパブリック・リレーションズとの関係を詳しく解説するなど内容を大幅に改訂しています。また、著者が長年実務を通して得た知見に基づき独自に研究を重ねてきた、パブリック・リレーションズの「自己修正モデル」についても深く解説しています。

### ■仕様

著者:井之上喬(いのうえ・たかし)

発刊日:2024年4月30日(第3版第1刷)

発行:株式会社日本評論社

定価:本体2800円+税

判型:A5判 ページ数:327ページ

### ■問い合わせ先:

株式会社 日本評論社(<http://www.nippyo.co.jp/>)

〒170-8474 東京都豊島区南大塚 3-12-4

TEL: 03-3987-8621(販売)、8595(編集)/infom@nippyo.co.jp

担当:守屋克美

## ■著者紹介

井之上 喬 (いのうえ たかし)

株式会社井之上パブリックリレーションズ代表取締役社長兼CEO

1944 年生まれ。早稲田大学第一商学部卒業。早稲田大学大学院公共経営研究科博士後期課程修了。博士(公共経営)。日本楽器製造株式会社(現ヤマハ株式会社)を経て、1970年に(株)井之上パブリックリレーションズを設立。2004年、日本パブリックリレーションズ研究所を設立。2009年3月、「自己修正モデル」の研究によりパブリック・リレーションズ分野で日本初となる博士号を取得(早稲田大学:公共経営)。現在、内外の企業、政府機関、団体など幅広い分野の顧客に対し双方向性コミュニケーションと自己修正をベースにしたコンサルティングを行うとともに、国際会議や米国ウォートンスクールや東京大学大学院をはじめとする内外の大学での講演など多数。

〈主な著作〉

The Global Public Relations Handbook: Theory, Research, and Practice (Lawrence Erlbaum Associates, 2003) (共著): 米国コミュニケーション・アソシエーションのパブリック・リレーションズ部門で 2003 年 PRIDE 賞受賞。Public Relations in Hyper-globalization: Essential Relationship Management - A Japan Perspective (Routledge, 2018), 『入門・パブリックリレーションズ』(PHP 研究所、2001)『「説明責任」とは何か』(PHP 研究所、2009)。

〈加入団体など〉

日本パブリックリレーションズ協会会員。米国パブリックリレーションズ協会 (PRSA) 会員。国際 PR 協会 (IPRA) フェロー。日本広報学会会員。情報文化学会産業部会長。グローバルビジネス学会顧問。前早稲田大学大学院客員教授。京都大学経営管理大学院特命教授。一般社団法人日本パブリックリレーションズ学会代表理事・会長。神戸情報大学院大学客員教授。北海道大学大学院客員教授。

## ■目次

はじめに

第1章 パブリック・リレーションズは 21 世紀最強のリアルタイム・ソフトウェア

第2章 パブリック・リレーションズとは何か？

第3章 パブリック・リレーションズの歴史的背景

第4章 パブリック・リレーションズと組織体

第5章 企業・組織における危機管理

第6章 戦略的パブリック・リレーションズの構築と実践

第7章 パブリック・リレーションズ活動の評価と測定

第8章 デジタルテクノロジーを用いたパブリック・リレーションズ—ソーシャルメディアから AI まで

資料1 パブリック・リレーションズ関連団体

資料2 米国におけるパブリック・リレーションズ発展小史

パブリック・リレーションズ用語集

参考文献

索引



事務局の青田です。

GWはいかがでしたか？

過激な円安の影響で海外旅行を控える方が多かったのは当然として、外出自体をしなかった方も多かったような。

かくいう私は、GW突入と同時に妻が腰を痛めて動けなくなり、休み中ずっと自宅で家事に明け暮れました！普段と違うペースでの作業は大変でもあり、楽しくもありで、脳も体も活性化したような気がします。ただし、妻の快復と引き換えに私が腰痛になるというオチが付きましたが。大笑。

## ■恐らく、最もハイレベルな“入門”講座！！（パブリックリレーションズ入門講座2024）

4/22～24、秋葉原で久しぶりにリアルの入門講座を実施し、66名の参加がありました。総勢11名の現場第一線の講師による3日間連続の講義・演習は、圧巻の内容でした！40年もPRで飯を食ってきた私ですら知らなかったこと、新鮮に感じられることが満載で、逆に言えば、新人・新任のみなさんにはキャパオーバーだったのではないかと。その点は来年の課題です。

理由はいくつかあると思われます。久しぶりの対面式だったこと。PR実務がドンドン変化していること。そして何よりも強かったのは、講師の熱意とPRへの愛情です。基礎編といえども、講師のみなさんは「今、自分自身が興味を持っていること」「おそらく最先端の話」を、遠慮なく叩き込んできます（笑）。中堅以上のPRパーソンで、仕事の“型”が身につけている人、自信アリの人こそ、受けてもらいたい「基本講座」でした。これはPRSJのリソースがあってこそ出来るものと確信しています。

録画によるオンデマンド講座を7月に開講します。ベテランにもお褒めします！

## ■個人会員の思いは多様。（個人会員アンケート）

4月下旬に実施した個人会員対象のアンケートの結果が出ました。詳細はあらためてご報告しますが、私個人の印象を述べさせていただくと、思ったとおり、個人会員の立場や業務、協会へのニーズは様々でした。特に、知りたい業務知識は多様で、PRの全領域に及んでいます。一方で、共通のニーズもありました。それは“会員同士の交流”です。このあたりが、今後の協会活動を考える際のカギになると思われます。個人会員のみなさんには今後の報告や施策にご注目いただき、ご意見などあれば遠慮なくお寄せください。

## ■テキストを大幅に改訂（PRプランナー資格試験）

1次試験および2次試験向けのテキストを全面的に見直し、今回は従来よりも大幅な改訂を施しました。上記の入門講座の話とカブリますが、PRの基本的な考えやスタンスは普遍的なものであっても、社会の状況とそれに直結するPR実務は常に変化しています。今さら言うまでもありませんが。

ただし、それを公益社団法人として整理し、オーソライズして打ち出すことは簡単ではありません。今回の改訂版も東経大の駒橋先生に多大なご協力をいただいた労作です。お読みいただき、ご意見をお寄せいただければ幸いです。

（事務局長 青田）

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・希望をお寄せください。

中身の濃い会員誌に育てていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

広報委員会

Eメール [mail@prsj.or.jp](mailto:mail@prsj.or.jp)

※禁転載

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木 6-2-31 六本木ヒルズノースタワー5F

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 1-12-12 東京建物梅田ビル 12F